

学習指導要領		都立三田高校 学カスタンダード
(1) 私たちの生きる社会	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p>	<p>"主体的な思索の必要性、個としての自立の重要性が理解できる。同時に個々の思想的要求が時として他者や他の集団、あるいは社会全体の幸福と対立することがあることを理解する。その課題を調整するために公平な判断力や理性的な討論能力の必要性を具体的に理解できる。</p> <p>自由と自己反省の必要性や、合理的思考や公平な判断力の必要性を具体的に理解する。</p> <p>班別学習の意義を理解する</p> <p>地球温暖化に対する先進国と途上国の関係について、公正な観点をもって考察できる。</p> <p>生命倫理の諸課題について、幸福の実現という観点から考察できる。</p>
(2) 現代社会と人間としての在り方生き方	<p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成</p> <p>生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p>	<p>"伝統や文化に触れながら現代社会における人間の生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>男女共同参画社会やノーマライゼーションの実現に向け課題を考察し、解決に向けた具体策を立案できる。</p> <p>"倫理、社会、文化の角度から世界のさまざまなものの見方考え方に触れ、異文化理解を進める。</p> <p>ソクラテスの無知の知などを手掛かりにして、よりよく生きることを求める複眼的思考としての哲学的思考を身につける。</p> <p>"文化の多様性理解と、よりよく生きることの理解としてキリスト教・仏教などを学ぶ。</p> <p>日本神話をはじめとした神話的思考について理解し、異文化を理解する態度を身につける。</p>

学習指導要領	都立三田高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義                      基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<p>日本国憲法の各条文に則して、自由権、社会権、平等権などについて理解し、その具体的な内容を簡潔に説明できる。</p> <p>我が国の平和主義について、日本国憲法第9条に明文化された「戦争の放棄」、「戦力の不保持」、「交戦権の否認」に言及して説明できる。</p> <p>国政選挙における衆参両院の相違点や、国政選挙と地方選挙との違いについて説明できる。</p>
<p>ウ 個人の尊重と法の支配                      個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<p>"ホッブズ、ロック、ルソーのそれぞれの考え方の違いを踏まえて社会契約説を理解し、民主政治における国家と個人について説明できる。</p>
<p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方                      現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p>	<p>少子高齢化が進むこれからの日本の社会における社会保障・社会福祉のあり方について考察し、世代間の負担の公正さや格差の是正といった課題に対する具体的解決策について合意形成を図る態度を身につける。</p>
<p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割                      グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧</p>	<p>"国際社会において、主権国家の利害を調整し、国際協調の推進と国際問題の解決に向けて、国際連合などの国際的な組織の果たす役割が増大していることを具体的な事例を挙げて説明できる。</p> <p>"</p>

	学習指導要領	都立三田高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指して</p>	<p>困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p> <p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<p>"グローバル化の急速な進展が、人々の生活の利便性を向上させただけでなく、経済格差の広がりなどの負の側面をもつことについて説明できる。</p> <p>"情報通信技術の発達や世界的な規制緩和の動きを理解するとともに、経済の国際化について、身近な商品の流通などの事例を踏まえて説明できる。</p> <p>"持続可能な社会の形成に参画する意義を認識し、現代社会の諸課題を主体的に探究できる。</p> <p>"具体的な事例を通して、人間の尊厳についての理解を深め、人間は互いにかげがえのない人格として平等であることを理解する。</p>